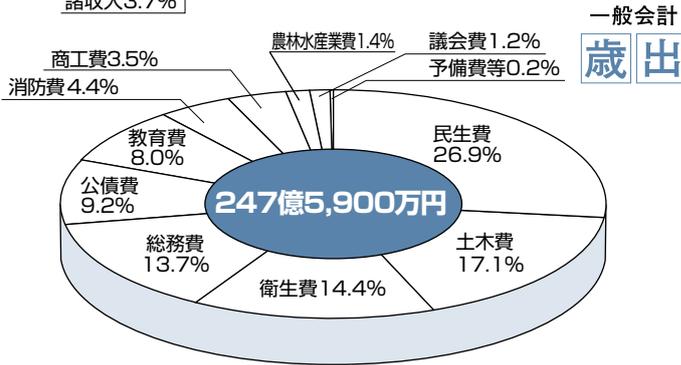
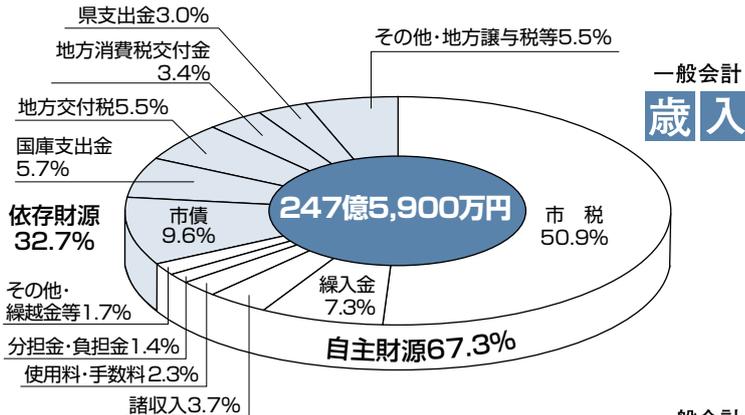


平成17年度一般会計予算 などを議決



3月市議会定例会は、2月25日から3月17日までの21日間の会期で開き、議案36件、意見書案1件を審議しました。
平成17年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



平成17年度

	予算額	対前年度比
一般会計	247億5,900万円	9.5%減
特別会計	807億9,570万円	22.1%減
企業会計	117億2,280万円	3.7%増
計	1,172億7,750万円	17.6%減

平成17年度特別会計・企業会計予算

会計別	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業	71億8,820万円 6.6%増
	老人保健	68億1,810万円 1.8%増
	介護保険事業	37億6,810万円 12.7%増
	モーターボート競走事業	583億5,200万円 28.6%減
	土地区画整理事業	16億6,600万円 22.5%減
	公共用地対策事業	3億5,740万円 3.6%減
	下水道事業	25億8,600万円 0.8%減
	三谷町財産区	5,430万円 49.2%増
	西浦町財産区	560万円 33.3%増
	企業会計	水道 収益的
水道 資本的		8億950万円 28.9%増
病院 収益的		83億1,620万円 2.0%減
病院 資本的		7億800万円 70.2%増

予算審査 特別委員会から

平成17年度一般会計予算など12会計予算は、24人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長土屋善旦、副委員長伴捷文）を設置し、審査をしました。

審査は、3月10日、11日、14日、15日の4日間に渡り、慎重に行いました。

●一般会計予算 前年度比9.5%の減

一般会計予算は、総額247億5900万円の前年度比9.5%の大幅な減となっています。

歳入の50.9%を占める市税は、個人・法人市民税合わせて2700万円の減、固定資産税はほぼ前年度並み、市たばこ税が500万円の増など、市税全体では0.1%増の125億9870万円です。

歳入全体の財源構成は、市税、繰入金、諸収入などの自主財源が67.3%、市債、国・県支出金などの依存財源が32.7%となっており、自主財源が前年度と比べ、6.3ポイント低下しました。

平成17年度の新規施策の主なものは、次のとおりです。

愛知万博関連事業に32億9500万円が計上されました。その内訳は、万博会場での「蒲郡デー」に1200万円、「山車からくりプロジェクト」に1053万円、「ポラランド、バヌアツ両共和国との「フレンドシップ事業」に980万円などです。

三河大塚駅前広場の公衆便所設置及び駅舎改築に伴い、大塚町を訪れる観光客や地元の駅利用者の利便に